

この広報紙は、北九州市教育委員会の施策や事業、各学校の取組を広く皆様に知っていただき、本市教育行政への理解と関心を深めるとともに、学校活動や行事へ参加していただくきっかけとなればとの思いから作成したものです。

未来をひらく

北九州市の子どものために

平成23年度

教育委員会の主な取組

平成23年度の主要施策の一部をご紹介します。

学校図書館の充実

教育委員会では、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に「読書好きな子ども日本一」を掲げ、読書を学校・家庭・地域が総がかりで取り組む重点項目として位置付けています。
また、「北九州市子ども読書プラン」を策定し読書活動を推進します。

学校図書館空調設備整備事業

子どもたちに快適な読書環境を提供するため、既に整備している学校を除く、全小中学校の図書館に空調機（エアコン）を設置します。



読書好きな子ども日本一を目指して!

学校図書館図書整備充実事業

学校図書館の蔵書を充実させていきます。

学校における読書活動推進モデル事業

学校における読書活動を一層推進するため、平成23年度は、実施中の7中学校（モデル校）区に加え、新たに7中学校区に学校図書館嘱託職員を配置します。

司書資格等をもった嘱託職員が、校区内の小・中学校で貸出・返却や児童生徒への図書の情報提供・相談などを行います。また、各校で募集して登録したブックヘルパーさんとともに、学校図書館運営の業務を行います。

子ども司書の養成

学校図書館や学校での読書活動を推進するため、市立図書館で小中学生を対象に「子ども司書」を養成します。

読書へのいざない

教育委員会では、PTAの皆様と連携して、毎月23日を「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」と定め、一年を通じて学校、家庭等が丸となって子どもの読書活動を推進する事業を展開します。

「言葉の力」を高めるために「読書」が有効であると言われていきます。教育委員会では、現在、学校での10分間読書や家読（うちどく）を推進しています。ご家庭でも、家族で読書をする時間をつくっていただき、子どもたちに読書の楽しさを伝えてみてはいかがでしょうか。



部活動サポーター事業

専門家によるスポーツトレーナーの指導など様々な手法を用い、中学校部活動を多方面から支援することにより、より多くの生徒が参加し、指導者が余裕と意欲をもって指導できる部活動を推進します。

「ギラヴァンツ北九州」の選手等によるスポーツトレーナーングについての講義及び指導

サッカーJ2の「ギラヴァンツ北九州」の選手やコーチングスタッフ等が、中学校の運動部生徒や顧問等を対象に、スポーツトレーニングや怪我防止のストレッチ、スポーツ栄養学などの指導を行います。また、指導内容をまとめたリーフレットを運動部の生徒に配布します。

プロスポーツチームによる魅力的な指導を受けることで、専門的な知識の習得や食生活の改善による技術力・体力・意欲の向上、怪我の減少などが期待されます。また、顧問等の指導力の向上にもつながると考えられています。



部活動、応援します!



保護者の皆様への情報発信

文化部や運動部など、すべての部活動に対して、保護者の皆様の理解を深めていただくとともに、生徒、保護者の皆様、学校にとって有意義な部活動を目指すため、部活動の活動方針や現状等を記載したリーフレットを作成します。

リーフレットは、中学校及び小学校6年生の保護者の皆様へお配りする予定です。「部活動とはどのようなものか」をご理解していただくきっかけになればと考えています。

その他の主な取組

特別支援教育の充実と体制整備

特別支援学校の整備に関する調査及び教室改修工事や、補助講師を増員するなど、特別支援教育の充実に努めます。

学習支援型アフタースクール事業

基礎的な学力や学習習慣の定着のため、放課後等に地域、大学生等の協力を得ながら、学習支援をモデル的に実施します。



教育の現場から

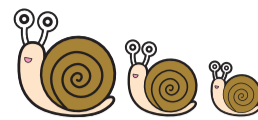
第1回

学力向上やよりよい授業づくりの取組

本市では、学力向上やよりよい授業づくりの取組として、「学力向上ステップアップ事業（第Ⅱ期）」、「学校大好きオンリーワン事業（第Ⅳ期）」等を行っています。

今回のテーマである「学校大好きオンリーワン事業」は、よりよい授業づくりの拠点となる市内10校を推進校として指定し、教科等における実践的な研究と、専門性の高い指導力のある教師の育成を行うものです。

その研究の成果は授業公開などで発信しています。



花尾小学校

八幡東区

学校大好きオンリーワン事業(体育)

できる楽しさを
味わう体育

運動が得意な子も苦手な子もみんな体育の学習が大好きです。できるから楽しい、友達と教え合ってるからもっと楽しいと感じる体育の学習になるように工夫を加え、それを公開して市内の学校に発信しています。今年は楽しく工夫したボールゲームの学習を2学期に公開します。

体育の学習で身に付けた力は、運動会や体育行事、スポーツ大会などで発揮されています。体を動かすことに夢中になって取り組む花尾っ子です。



折尾西小学校

八幡西区

学校大好きオンリーワン事業(国語)

文種に応じた書く力を育てる国語

折尾西小学校では、「進んで学び良く考える子」を育てるために、国語科教育に力を入れています。その中でも、特に、相手や目的を意識しながら、手紙や報告文など文種に応じた書く力を子どもたちが身に付けるように研究しています。また、毎週全校一斉に行う「折西タイム」では、「音読暗唱ブックひまわり」を使って、日本語のもつ美しい響きやリズムを体感させ、学力の基盤となる言葉の力を育てる取組も行っています。



門司中央小学校

門司区

学校大好きオンリーワン事業(算数)

子どもが楽しく学び合う算数

毎年2回の「授業力アップ 算数フォーラム」を開催しています。この場を通して、本校の研究の取組を全市に発信し、多くの先生方の意見を取り入れて研究を進めています。

昨年度は、その成果として『365日の算数授業づくりガイドブック』を門司中央小学校で出版しました。



本年度は、これまでの取組をもとに、算数の学習における「学び合いプラン」を充実させます。意欲をもって学び合う子どもの姿を、授業を通して公開します。

田原中学校

小倉南区

豊かな心を
育てる道徳

学校大好きオンリーワン事業(道徳)

田原中学校は、平成20年度より中学校では唯一、本事業の指定を受け、道徳教育の推進に取り組んできました。今日まで、32の授業を公開し、講演会等も実施しました。子どもたちにも豊かな心が育っています。

本年度も、さらに教師一人一人の授業力の向上を目指し公開授業を実施し、研究拠点校としての役割を果たします。また、学校が発信地となり、保護者・地域の方を巻き込んだ道徳教育として、「弁当の日」「地域清掃活動」等も積極的に進めていきます。



このコーナーでは、毎回テーマに沿って、市内小中学校での特色ある取組についてご紹介します。各校の先生と子どもたちの生き生きとした姿を、どうぞ見守ってくださるよう、ご理解とご支援をお願いします。

お知らせ

**学校施設耐震補強事業
大規模改修事業を
行っています。**

○6月中旬から10月下旬までを予定

学校施設耐震補強事業

学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であり、災害時には地域住民の避難所となることから、学校施設に必要な耐震性能を確保するため、平成19年度から本格的に耐震補強工事を行なっています。

今年度は夏休みを中心とする工事を次の学校で予定しています。

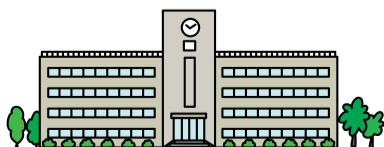
- 小森江西小学校
- 小森江東小学校
- 西門司小学校
- 足原小学校
- 到津小学校
- 城野小学校
- 広徳小学校
- 守恒小学校
- 若園小学校
- 祝町小学校
- 槻田小学校
- 青山小学校
- 塔野小学校
- 緑丘中学校
- 板櫃中学校
- 富野中学校
- 沼中学校
- 大蔵中学校
- 折尾中学校

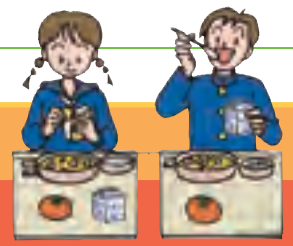
大規模改修事業

教育環境の改善を図るため、耐震補強工事が完了した学校から順次大規模改修工事(内壁・床改修・内部塗装工事、段差解消、設備更新など)を行っています。

今年度は夏休みを中心とする工事を次の学校で予定しています。

- 富野小学校
- 中島小学校
- 西小倉小学校
- 北方小学校
- 高槻小学校
- 黒畑小学校
- 鳴水小学校
- 一枝小学校
- 足立中学校
- 霧丘中学校





中学校完全給食の全校導入

4時間目終了のチャイムがなると、黒いエプロンと三角巾をつけた給食当番が配膳室に給食を取りにやってきます。

各クラスでは、「カレーは大盛りにしてね」、「ゆで卵2個余ってるけど、食べたい人はじゃんけんして」などの声が飛び交っています。

このような給食時間の光景が、この4月から、全ての中学校で見られるようになりました。



給食レシピを
ホームページで公開中!

北九州市 給食レシピ集



中学校完全給食は、平成20年1月から行ったモデル事業の検証結果等を踏まえ、平成21年度から段階的に導入してきました。そして、今年4月から、26中学校で完全給食をスタートした結果、全ての中学校(62校)で完全給食を実施するに至りました。

本市の中学校給食は、近隣の小学校で調理し、トラックで配送する「親子方式」で実施していますが、保温食缶の利用や、学校栄養士や調理士の献立・調理方法の工夫等により、「安心・安全」で「栄養バランスがよく」「温かい」給食が提供できています。

これからはすべての小中学校で9年間を通じた食育指導が可能となります。教職員も創意工夫をこらしながら、学校給食を「生きた教材」として、教育活動の様々な場面で活用し、学校における食育を推進しています。

ただ、学校給食は、1日3食のうちの1食です。年間を通じると夏休み等もあることから、子どもたちの全食事回数数の6分の1に過ぎません。

「食」の問題は、学校だけではなく、家庭や地域も含め、みんなで取り組んでいくものです。

子どもたちが将来にわたって健康な体と心をつくっていただけるよう、学校給食をきっかけにして、家庭での食生活を見つめ直してみませんか。

● マイスター教員 ●

学校の枠を超えた全市的な教員の指導力向上を目指し、平成21年度から指導力に優れた教員を「マイスター教員」と認定しました。マイスター教員は、教員からの授業作りに対する相談対応や教育センターで実施される研修の講師として活躍しています。

平成23年度は6名の教員が認定されています。

千代小学校

和泉 美佐子 教諭

落ち着いた授業を展開する中にも、授業の流れに見通しを持ちテンポ良く授業を進め、児童がしっかり考えて書くように指導しています。

児童の学習状況・理解度を的確に把握するため、児童一人一人が学習で学んだこと・感じたことを記録する「国語通信」をほぼ毎日発行し、毎時間、その内容を振り返ることから授業をはじめています。

また、「国語通信」では、時間中発表を出来なかった児童の考えを優先的に掲載するなど、発表の少ない児童の考えも授業に反映できるように工夫しています。



児童生徒の平和に関する正しい認識及び平和を希求する心情を育成することをねらいとして、すべての学校で年間を通し、全教育活動の中で平和に関する指導が行われています。

七月は「平和に関する指導月間」です

今年度からは、「北九州市非核平和都市宣言」を受け、さらに命と平和の大切さを認識し、核兵器の廃絶と平和な世界の実現を望む児童生徒の育成を図るために、7月を「全市一斉の平和に関する指導月間」として、全校が一斉に取り組めます。



不登校児童生徒療育キャンプ

教育委員会では、不登校の解決を図る一環として、「不登校児童生徒療育キャンプ」を実施しています。

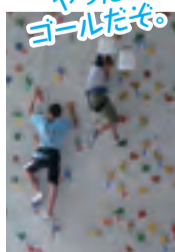
平成22年度には、ワラビーキャンプ、ウィンターキャンプ、スプリングキャンプを開催しました。参加した児童生徒が学校へ復帰したり、状況が良くなったりした割合は、不登校児童生徒療育キャンプ全体を通して83.3%となるなど、一定の成果を挙げています。

今年度も、ワラビーキャンプ、ウィンターキャンプ、スプリングキャンプを実施します。詳しくは、各学校にお問い合わせください。

ワラビーキャンプ

7月26日～7月31日 玄海青年の家

5泊6日のテント生活において、飯ごう炊さん、カヌーツーリング、ロッククライミングなどの活動をします。仲間と協力するよさを実感するとともに、困難を乗り越えていく力の育成を図ります。



カヌーツーリング ロッククライミング

ウィンターキャンプ

12月2日～12月3日 もじ少年自然の家

1泊2日で海岸清掃、海釣り、ストーンペインティングなどの地域貢献体験、自然体験をします。仲間の存在のすばらしさを体感します。

スプリングキャンプ

3月2日～3月3日 もじ少年自然の家

平成22年度から新たに始めたキャンプです。新年度からの学校復帰を目的とし、1泊2日で貝ほりなどの自然体験やコミュニケーションスキルを高める体験などをします。



貝ほり体験

教育委員会とは？

教育委員会のしくみ

「教育委員会」とは、地方自治体の教育に関する事務をつかさどる組織で、各都道府県、市町村等に設置されています。

北九州市教育委員会は6人の委員で構成されています。

委員は、人格が高潔で、教育・学術及び文化に関し識見を有するものの中から、北九州市長が市議会の同意を得て任命します。委員の任期は4年です。

北九州市教育委員

- 川原 房 榮 (委員長)
- 上田 隆 雄
- 野畑 昭 彦
- 吉田 ゆかり
- シャルマ 直美
- 柏木 修 (教育長)

平成23年7月現在

教育長は、教育委員の中から任命され、教育委員会の指揮監督のもとに、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどります。

教育委員会事務局

「市立小中学校の建設や増改築」、「通学区域の設定や変更」、「教職員の人事」、「教科書の選定」、「学校給食」、「生涯学習」、「美術館・博物館に関すること」など、教育委員会の権限に属する事務は大変幅広いものとなっています。

これらの事務を取り扱っているのが教育委員会事務局の職員です。

「教育日本一」を実感できる環境づくりを目指し、学校・家庭・地域・行



教育委員会会議の様子

政が連携・協力しながら、思いやりの心をもつ自立した子どもをばくくんでいくため、教育長のもと、教育委員会事務局職員は、学校教育に関するさまざまな課題に取り組んでいます。

教育委員会会議とは？

教育委員会の事務に関する重要事項について教育委員が審議を行う場が、「教育委員会会議」です。

平成22年度は計23回の会議が開催され、活発な議論がなされました。

教育委員会会議における議決等に基づき、北九州市の教育行政の方向性が決定されます。

開かれた会議を目指して

教育委員会会議における議論が市民の皆さんにより開かれた身近なものとなるよう、現在、会議録や会議資料を市のホームページで公開する準備を進めています。

また、会議は一部を除き公開されており、どなたでも傍聴することができます（各回10名まで）。

会議は、基本的に月2回、小倉北区役所庁舎6階の教育委員会会議室で行われています。詳細は、市のホームページをご確認ください。

日本語大好き音読暗唱ブック「ひまわり」



子どもの学力の基盤となる言葉の基礎力を育てるために、平成20年4月に、市内の小学校の1年生から4年生までの子どもたちに配布しました。その後、毎年、新1年生に配布を続けており、現在は、6年生まで、すべての学年の子どもたちが「音読暗唱ブックひまわり」を手にしています。各学校では、この「ひまわり」を使い、国語の授業のはじめの3分間や朝の活動等を利用して、音読・暗唱に取り組んでいます。

保護者の皆様からは、「自分の子どもの集中力や記憶力に感心した」「古典を話題にして、親子の会話が増えた」などの声が寄せられています。ご家庭でも、音読や暗唱ができたことを大いにほめてあげてください。

なお、「音読暗唱ブックひまわり」は、1冊100円で、購入することができます。詳しくは、下記にお問い合わせください。

音読・暗唱の効果

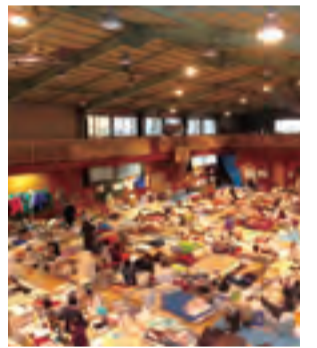
- 語彙力が向上する。
- 感性・情緒が豊かになる。
- 文字を読むのが速くなる。
- 言葉についての興味・関心が高まる。
- 発音・発声が明瞭になる。
- 学習の構えがつけられる。

問い合わせ 教育委員会指導企画課 ☎582-2367

職員派遣レポート

頑張ろう釜石!

東日本大震災の災害復興支援のため、教育委員会からも岩手県の釜石市に職員を派遣し、避難所の管理運営や支援物資の配給等、被災者の方々のための支援業務を行っています。



約120人の被災者の方々や釜石市の職員が、これからの生活への不安もある中、皆で助け合い、馴れない避難所生活に懸命に取り組んでいる姿は本当に印象的でした。雨漏りのする避難所で、支援物資の入っていたダンボール箱を机代わりに一生懸命勉強していた小学3年生の女の子の姿、そしてそれを温かく、でもどこことなく悲しげな目で見守っていたお母さんの眼差しを私たちはきっと忘れな



と思います。支援業務を終え、遠くはなれてしまいましたが、今も避難所生活を続けている方々のために、何かできることはないかと日々考えながら業務に取り組んでいます。

校納金のお支払いは口座振替が便利です!

給食費や教材費、学習活動費など、児童・生徒が個人で使用するものは、校納金として保護者の皆様に負担していただ



いています。子どもたちが安心して食べることのできる学校給食を提供したり、教育活動を展開するために、毎月の確実な校納金納入に、ご協力をお願いします。

校納金の納入は、安全で便利な口座振替をご利用ください。ご利用方法などは、学校へお問い合わせください。

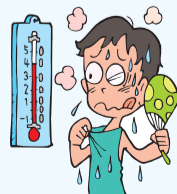
家庭における熱中症予防

熱中症は主に暑さによって引き起こされ、死に至る恐れのある病態です。しかし、適切な予防法を知っていれば防ぐことができるので、ご家庭においても、

- ①こまめな水分・塩分の補給
- ②服装の工夫
- ③規則正しい生活を送り体調を整える

など、熱中症予防を心掛けてくださいますようお願いいたします。

また、登校前にはお子様の体調を十分に観察し、体調不良の場合は連絡帳等で学校にお知らせ下さい。



今年の夏も子ども文化パスポート事業が始まります



北九州市、下関市、長門市の文化施設など61施設に無料(一部割引)で入場できるなど施設で特典が受けられるパスポートを、在籍する幼稚園・学校などを通じて配付します。

今年の企画はスタンプラリー。一定の条件を満たせば自動掃除ロボットやデジカメなどが当たる抽選に応募できます。

有効期間 7月16日(土)~8月31日(水)
問い合わせ 教育委員会企画課 ☎582-2357